

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	卒業研究（Graduation Thesis）		
ナンバリングコード	L41206	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 総合レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	6	配当学年 / 開講期	4 年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L120602	クラス名	島岡研究室
担当教員名	島岡 成治		
履修上の注意、 履修条件	卒業可能な単位を取得している必要があります。また、原則として島岡研究室のゼミナールA、ゼミナールBを履修している必要があります。 大学4年間の集大成としての成果を求められますので、時間割の時間外にも積極的自主的に取り組む必要があります。		
教科書	特にありません。		
参考文献及び指定図書	適宜示します。		
関連科目	全科目		

○基本情報		
授業の目的	卒業研究は、大学4年間の集大成です。卒業研究では、自主的な取り組みはもちろんのことですが、能動的に問題意識をもち、発想し、それを発展させ、調査方法を発案し、調査し、調査結果を分析し、さらに分析結果から論理を構築し、成果としてまとめ上げ、第三者に対してわかりやすく発表するという、総合的な能力が問われます。特に、さまざまな地域課題に対し、課題解決のための研究調査や提案を行います。必要に応じて地域のステークホルダーと協働して行います。	
授業の概要	これまでに受講したすべての講義や実習を基礎とし、各自がもっとも興味を持つ分野を研究して、卒業論文または卒業設計を完成させます。 指導内容は研究対象によって異なりますが、一般的に、はじめに卒業研究の概要の説明を受け、各自の取り組むテーマを設定し、設定したテーマについて予備研究を行い、指導教員のもとで、調査、観測、実験、解析、設計などの研究を自主的に行います。データの整理、検討を行い、あるいは設計図書をまとめ、卒業論文または卒業設計を期限までに仕上げて提出し、審査を受けます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①研究テーマに主体的に取り組むことができる。			
【知識・理解】	②卒業研究のテーマに関する基本知識や専門的知識を身につけ、さらにテーマについて考え方を深めていくことができる。		30点	
【技能・表現・コミュニケーション】	③調査研究もしくは建築制作した内容を適切にプレゼンテーションする能力を身につける。 ④プレゼンテーションされた内容を理解し、専門的な立場から自分の意見を言うことができる。		30点	10点
【思考・判断・創造】	⑤卒業研究もしくは卒業設計において明らかになる問題に対し何らかの提案をすることができる。		30点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
卒業研究もしくは卒業設計として論文もしくは作品を提出しなければなりません。その内容については、単位を修得するために達成すべき到達目標に対し、以下の達成水準を目安とします。 S:よく満たしている。 A:ほぼ満たしている。 B:一応満たしている。 C:一部分満たしている。 卒業研究発表会において発表することが義務づけられています。その発表において特に優れた者は加点することがあります。				
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います				

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名 担当教員	卒業研究（Graduation Thesis） 島岡 成治	授業コード	L120602
学修内容					
1. テーマ設定					
卒業研究もしくは卒業設計のうち、どちらかを選択し、それぞれにおいてテーマを設定します。また、タイムスケジュールも設定します。					
予習	卒業研究もしくは卒業設計のテーマ設定、年間予定表の作成と発表準備。				約3時間
復習	テーマの明確化とそのための文献調査、実地調査の計画と実施等。				約3時間
2. プレゼンテーションと討論会					
各自調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションし討論します。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマの設定そのものを見直します。					
予習	調査結果に基づく経過報告のための発表準備。				約3時間
復習	卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。				約3時間
3. プレゼンテーションと討論会					
各自調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションし討論します。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマの設定そのものを見直します。					
予習	調査結果に基づく経過報告のための発表準備。				約3時間
復習	卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。				約3時間
4. プレゼンテーションと討論会					
各自調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションし討論します。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマの設定そのものを見直します。					
予習	調査結果に基づく経過報告のための発表準備。				約3時間
復習	卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。				約3時間
5. プレゼンテーションと討論会					
各自調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションし討論します。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマの設定そのものを見直します。					
予習	調査結果に基づく経過報告のための発表準備。				約3時間
復習	卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。				約3時間
6. プレゼンテーションと討論会					
各自調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションし討論します。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマの設定そのものを見直します。					
予習	調査結果に基づく経過報告のための発表準備。				約3時間
復習	卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。				約3時間
7. プレゼンテーションと討論会					
各自調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションし討論します。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマの設定そのものを見直します。					
予習	調査結果に基づく経過報告のための発表準備。				約3時間
復習	卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。				約3時間
8. プレゼンテーションと討論会					
各自調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションし討論します。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマの設定そのものを見直します。					
予習	調査結果に基づく経過報告のための発表準備。				約3時間
復習	卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。				約3時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	卒業研究（Graduation Thesis） 島岡 成治	授業コード	L120602
学修内容					
9. プレゼンテーションと討論会					
各自調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションし討論します。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマの設定そのものを見直します。					
予習		調査結果に基づく経過報告のための発表準備。			約3時間
復習		卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。			約3時間
10. プレゼンテーションと討論会					
各自調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションし討論します。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマの設定そのものを見直します。					
予習		調査結果に基づく経過報告のための発表準備。			約3時間
復習		卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。			約3時間
11. プレゼンテーションと討論会					
各自調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションし討論します。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマの設定そのものを見直します。					
予習		調査結果に基づく経過報告のための発表準備。			約3時間
復習		卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。			約3時間
12. ～14.プレゼンテーションと討論会					
各自調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションし討論します。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマの設定そのものを見直します。					
予習		調査結果に基づく経過報告のための発表準備。			約9時間
復習		卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。			約9時間
13. 前半の研究内容のまとめ					
これまで調査もしくは制作した内容全体を整理しまとめます。その成果をプレゼンテーションし討論します。その結果、テーマの内容を確認し、次回以降の研究予定表を作成します。					
予習		これまでの研究成果をまとめ、討論のための発表準備。			約3時間
復習		討論・指摘された内容から、卒業研究もしくは卒業設計のテーマの確定と全体構想の策定。			約3時間
14. ～24: プレゼンテーションと討論会					
各自調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションし討論します。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。卒業設計の場合はエスキスやスタディ模型などにより制作をすすめます。					
予習		再設定された研究予定表と全体構想に基づく研究もしくは設計した内容の発表準備。			約27時間
復習		不足する文献。実地調査等の実施と論文もしくは作品制作の実施。			約27時間
15. ～30: プレゼンテーションと討論会					
卒業論文、卒業設計を完成させます。また、卒業研究発表会に向けて概要および発表用資料をを作成します。					
予習		再設定された研究予定表と全体構想に基づく研究もしくは設計した内容の発表準備。			約18時間
復習		不足する文献。実地調査等の実施と論文もしくは作品制作の実施。			約18時間
16. 卒業研究発表会					
卒業研究発表会で発表します。					
予習		完成された卒業論文または卒業設計に基づく発表資料の作成。			
復習		各自の研究成果と発表で指摘された内容から、改めて自分と建築について考察する。			